

平成30年度 キャリア教育の全体計画

学校番号	57	学校名	鹿児島県立古仁屋高等学校
本校の教育目標 ① 日本国憲法及び教育基本法に基づき、学校教育の定める目標を達成するように努める。 ② 郷土の教育的な伝統や風土を生かした全人教育・生涯教育の推進に努めるとともに、生きる力を備えた生徒の育成を図る。 ③ 校訓「自主自立」、「敬愛和協」、「明朗端正」、「誠実勤勉」のもと、本校教育の充実・発展に努める。			
目指す学校像 地域に愛され、地域と共に発展する学校を目指す。 きめ細かな少人数制と個別指導で進路実現を図る。		本校の目指す生徒像 授業、部活動、ボランティア活動を3本柱に、人の心の痛みが分かり、人に手を差し伸べることができる生徒を育てる。	
本校生徒の実態 ・明朗で素直な生徒が多く問題行動は少ない。部活動やボランティア活動等への参加意欲が高い。学力の格差は大きい。 【進路状況】 平成29年度 大学・短期大学 34％・専修・各種学校(高等技術専門学校を含む) 36％・就職 30％ 【課題】 ・学習習慣の定着 ・進路学習への意識・関心の向上 ・意思決定能力の向上 ・進路実現に向けた努力			
キャリア教育の全体目標 ・各部、学年、教科、家庭との連携を密にし、基本的学習習慣の確立と基礎学力向上に努める。 ・確かな学力の定着、小論文・作文指導、面接指導などを充実させ、生徒の進路目標の実現に努める。 ・大学入試、専門学校入試、就職試験について研究し、3年間を見通した進路指導体制を整え、学年や個々に応じた指導を行いながら、生徒の進路意識の高揚と早期の進路目標の確立に努める。			
		教育活動を通して育成したい能力	
【第1学年重点目標】 (1) 古高生としての自覚を持ち、服装容儀・欠席遅刻・挨拶などの生活面をしっかりと、「自律心」を身に付ける。 (2) 部活動へ積極的に参加し、文武両道を目指す。 (3) 基礎学力の徹底を図り、自ら学びに向かう習慣を確立する。(環境づくり、課題の提出など) (4) 二者面談・三者面談を活用して自分の進路について先生方に相談し、進路目標やコース選択について具体的に考える。		人間関係形成・社会形成能力	高校生活に適応し、中学校から高校へ学習スタイルを転換、習慣化する。また、高校生として生活面(服装、授業態度等)をしっかりとる。
		自己理解・自己管理能力	将来の夢や希望を持つとともに、自分の興味・関心がどこにあり、どのような適性があるのか、またどのような人生を送りたいのかを考える。
		課題対応能力	情報を活用する姿勢を身に付ける。
		キャリアプランニング能力	様々な進路があることを知り、理解を深める。自己の適性についても考え、進路選択の参考にする。
【第2学年重点目標】 (1) 中堅学年としての自覚を持ち、文武両道で学校をリードできる集団を目指す。 (2) 一人一人が自己の能力・適性を自覚するとともに、職場体験学習をとおして働くことについて学ぶ。 (3) 現実的な選択に向けて具体的に進学・就職先を研究し、希望進路実現のために積極的に学習できる集団を目指す。 (4) 様々な資格・検定試験に挑戦し、主体的に学ぶ力を身に付ける。		人間関係形成・社会形成能力	中堅学年としての自覚を持ち、文武両道で学校をリードできる集団を目指す。
		自己理解・自己管理能力	自己の適性・関心を考え、自己理解を深める。
		課題対応能力	進路希望実現のために進路計画を立て、目標を設定する。
		キャリアプランニング能力	インターンシップをとおして自己の能力・適性を自覚し、職業観を養う。
【第3学年重点目標】 (1) 最高学年としての自覚を持ち、学習面・生活面で下級生の模範となるような集団を目指す。 (2) 進路実現のため、朝課外・夏季課外などの課外授業や小論文・面接指導などを効果的に利用する。 (3) 自分の能力や適性を的確に把握し、主体的に進路決定ができるように、進路に関する準備を早期に行う。 (4) 二者面談・三者面談を効果的に活用して進路を決定し、十分な宅習時間を確保する。		人間関係形成・社会形成能力	進路目標を設定し目標達成のために志望校・就職先のことについての研究を始め、進路実現のために基礎学力を養成する。
		自己理解・自己管理能力	生活リズムを乱しやすいつ時期であるので、規則正しい生活を心掛ける。
		課題対応能力	これまでの進路研究の結果と自分の学力を踏まえて、受験校・受験企業を決定する。
		キャリアプランニング能力	進路を決定し、上級学校や職場への適応を高める。専門分野の学力や社会人としての心構えを養成する。
各教科との連携	・基礎、基本の定着を図る。 ・授業改善の取組(主体的・対話的で深い学びを実現させる授業への転換) ・様々な資格、検定試験に挑戦し、主体的に学習に取り組む態度を身に付ける。 ・生徒指導や授業態度に関するルールの一統と徹底		
教務部との連携	・基礎学力の定着(朝課外の計画的な実施) ・学力の向上(授業時間の確保と行事の精選)		
生徒指導部との連携	・規範意識の徹底(進路を見据えた礼法指導や服装容儀指導の実施) ・部活動や生徒会活動の活性化、交通安全指導の充実		
進路指導部との連携	・進路の手引作成と効果的な活用 ・各種模試や検定試験への積極的な取組 ・進路説明会や進路ガイダンスの実施		
保健部との連携	・基本的生活習慣の確立 ・体調管理の徹底		
外部との連携	・家庭・地域との連携 学年、地区PTAの実施・学校ホームページ、ブログによる情報発信・地域の関わりの中で行うボランティア活動など ・中、高、大の連携 中学生の1日体験入学・中学校への出前授業・大学等の教員による出前講義・オープンキャンパスへの参加など ・企業との連携 企業訪問・インターンシップ・古高会講座・病院での看護体験・福祉施設での介護体験など		

月		4月	5月	6月	7月
学校行事		入学式・オリエンテーション 古北戦 新体力テスト 避難訓練 家庭訪問	期末考査 クラスマッチ	第1回進路ガイダンス 終業式 医療ガイダンス	オープンキャンパス・企業訪問 シーカヤックマラソン大会 みなとまつり
各教科・科目・進路	人間関係形成・社会形成能力の育成	【芸術】 ・歌唱指導を通じて、校歌及び愛校心を育成する。	【情報】 ・情報モラルを身に付けた上で、情報機器やネットワークなどを適切に活用するとともに効果的にコミュニケーションを行うための知識と技能を育成する。	【地歴公民】 ・近代国民国家の発展や、日本の国会開設に関する歴史を学ぶことで、主権者意識を高める。	【ボランティア活動】 ・地域行事に積極的な参加を通じて、郷土に関する理解を深める能力を育成する。
	自己理解・自己管理能力の育成	【英語】 ・自己紹介・他人の紹介を通じてコミュニケーションの言語能力を育成する。 【体育】 ・新体力テストを通じて自らの体力について理解を深める能力を育成する。	【国語】 ・歌物語を通じて日本文化の原点について理解を深め、自らの生活の在り方について深く考える能力を育成する。	【夏季課外】 ・夏季課外における指導を通じて、自己管理能力を育成する。 【理科】 ・物質の科学を通じて、社会について科学の観点から理解を深める。	【保健】 ・運動と健康について学び、熱中症等に対応できる健康作りへ向けて自己管理能力を育成する。
	課題対応能力の育成	【家庭】 ・青年期について学習することを通じて、発達課題への対応能力を育成する。	【英語】 ・実用英検対策を通じて、自分が興味を持っていることに関する表現への対応力を育成する。	【数学】 ・図形と計量の課題解決を通じて、数学的な見方で課題を解決する能力を育成する。	【部活動】 ・夏季休業期間中の練習を通じて、自らが所属する部の課題を設定し、解決へ向けて計画的に練習をする能力を育成する。
	キャリアプランニング能力	【進路】 ・オリエンテーションを通じて、高校生活を人生におけるキャリアプランの一環として捉えられる能力を育成する。	【家庭】 ・各ライフステージの特徴と課題について学び、キャリアプランについて考える。	【進路】 ・第1回進路ガイダンス、医療ガイダンスを通じて、自分のキャリア形成について考える能力を育成する。	【オープンキャンパス・企業見学】 ・自らの志望先を直接訪問することで、より具体的にキャリア形成について考える能力を育成する。
総合的な学習の時間(ストグレ)		・避難訓練事前指導を通じて、防災意識を高め、郷土の地形等への認識を深める。	・テーマ学習(①科学・環境 ②経済・文化 ③医療・福祉)のテーマを設定し、基本的な内容について学習する。	・テーマ学習において、1学期の学習内容を効果的に活用する。	・図書館等で資料を収集し、テーマ学習の内容を深める。
特別活動		・大島北高との対抗戦に伴うごみ拾い等を通じて、地域貢献の精神を養う。	・各学級において、進路シラバス等を利用した進路学習を展開する。		・地域行事へのボランティア参加を通じて、地域貢献の精神を養う。

※学習内容については一例を示している。

月		9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校行事		体育祭 古高会講座		文化祭 クラスマッチ	出前授業 避難訓練	加計呂麻遠行 第2回進路ガイダンス	
各教科・科目・進路	人間関係形成・社会形成能力	【体育】 ・体育祭へ向け、集団行動の基礎を身に付けるとともに、集団の中での個の生かし方について考える能力を育成する。		【理科】 ・エネルギーの利用について学び、わが国のエネルギーの在り方について考えを述べられる能力を育成する。	【理科】 ・自然災害を地殻変動と関連づけて学ぶ事で、避難訓練を一層有意義なものにする。	【地歴公民】 ・持続可能な社会形成について深く考え、意見を述べられる能力を育成する。 【家庭】 ・高齢社会・社会保障について意見を述べられる能力を育成する。	
	自己理解・自己管理能力	【体育】 ・心身の健全な発達と体力の向上を図り、それに応じて記録に挑戦する。		【コース選択】 ・次年度のコース（進学コース、情報ビジネスコース）選択に関わる調べ学習等を通じて、自己理解を深める能力を育成する。	【保健】 ・交通社会について学ぶ事で、交通マナーについての認識を深める。	【芸術】 ・創作発表を通して、自己表現力を高める。 【体育】 ・自分の体力に応じて遠行を計画的に踏破する能力を育成する。	
	課題対応能力	【文化祭発表をする教科】 ・課題を設定して、発表までの計画を立てることで、自分たちの考えを論理的に伝える能力や企画運営能力・行動力を養う。		【文化祭発表をする教科】 ・文化祭発表を通じて、他者の多様な意見に耳を傾け、課題に対する考えを深める。	【出前授業関連教科】 ・出前授業に関わる研究分野について、関連教科の授業で事前学習を行い、出前授業によりしっかりと対応できるようにする。	【英語】 ・1年間学習した文法をまとめることで、短い英文を読解できるようになる。 【数学】 ・空間図形の成り立つ理由を論理的に考察できるようにする。	
	キャリアプランニング能力	【古高会講座】 ・OBの話に耳を傾けることで、自身のキャリア形成について考える能力を育成する。		【情報】 ・ビジネス文書に関する基本的な知識と技能を身に付け、実社会に役立つ能力を深める。	【進路】 ・出前授業を通して、自分の進路や希望する研究分野についての認識を深める。	【進路】 ・第2回進路ガイダンスを通じて、自らの進路に関する分野についての認識を深め、将来のイメージをより具体化させる。	
総合的な学習の時間（ストグレ）		・テーマ学習（①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉）		・文化祭においてテーマ学習の研究成果を発表する。	・避難訓練を通じて防災意識を高める。	・課題研究の研究結果発表を通じて、他者の多様な意見に耳を傾け、課題に対する考えを深める。	
特別活動		・体育祭における役割を果たす中で、その重要性を理解し、将来の社会生活に役立てる。		・文化祭発表、クラスマッチ参加を通じて、企画運営能力や行動力を育成する。		・自己の進路目標、身に付けたい能力について考え、次年度への具体的な行動を計画する。	

※学習内容については一例を示している。

月		4月	5月	6月	7月
学校行事		三者面談 古北戦 新体力テスト 避難訓練	高校総体 期末考査 クラスマッチ	第1回進路ガイダンス 夏季課外 医療ガイダンス インターンシップ	オープンキャンパス シーカヤックマラソン大会 みなとまつり
各教科・科目・進路	人間関係形成・社会形成能力の育成	【保健】 ・家族計画についての学習を通じて、社会形成能力を育成する。	【地歴公民】 ・古代中国の学習を通じて、国際的な社会形成能力を育成する。	【学校設定教科】 ・手話授業を通じて、共生社会の在り方について深く考える能力を育成する。	【ボランティア活動】 ・地域行事に積極的な参加を通じて、郷土に関する理解を深める能力を育成する。
	自己理解・自己管理能力の育成	【体育】 ・新体力テストを通じて自らの体力について理解を深める能力を育成する。 【家庭】 ・食生活の学習を通じて、自らの食生活を管理する能力を育成する。	【教育相談】 ・学校生活や家庭生活について積極的に振り返る能力を育成する。	【夏季課外】 ・夏季課外における指導を通じて、自己管理能力を育成する。	【保健】 ・運動と健康について学び、熱中症等に対応できる健康作りへ向けて自己管理能力を育成する。
	課題対応能力の育成	【数学】 ・等式や不等式の証明を通じて、数学的な考え方による課題対応能力を育成する。	【理科】 ・イオンについての探求活動を通じて、観察・実験・調査による課題対応能力を育成する。	【大学進学希望者】 ・個別指導を通じて、大学受験の対応能力を育成する。	【部活動】 ・夏季休業期間中の練習を通じて、自らが所属する部の課題を設定し、解決へ向けて計画的に練習をする能力を育成する。
	キャリアプランニング能力	【第1回進路希望調査】 ・進路希望調査を通じて、自らの進路を一層具体的にできるキャリアプランニング能力を育成する。	【外国語】 ・実用英検対策等を通じて、将来就きたい職業について、英語で自分の考えを発表する能力を育成する。	【進路ガイダンス】 ・第1回進路ガイダンス、医療ガイダンスを通じて、自分のキャリア形成について考える能力を育成する。	【オープンキャンパス・企業見学】 ・自らの志望先を直接訪問することで、より具体的にキャリア形成について考える能力を育成する。
総合的な学習の時間 (ストグレ)		・避難訓練事前指導を通じて、防災意識を高め、郷土の地形等への認識を深める。	・履歴書の記入を通じて、職業観・勤労観を育成する。	・実習先の開拓、インターンシップの準備及び実施を通じて、職業観・勤労観を育成する。	
特別活動		・大島北高との対抗戦に伴うごみ拾い等を通じて、地域貢献の精神を養う。	・各学級において、進路シラバス等を利用した進路学習を展開する。		・地域行事へのボランティア参加を通じて、地域貢献の精神を養う。

※学習内容については一例を示している。

月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		体育祭 古高会講座		文化祭 集団読書		出前授業 修学旅行		加計呂麻遠行 第2回進路ガイダンス
各教科・科目・進路関係	人間関係形成・社会形成能力	【体育】 ・体育祭へ向け、集団行動の基礎を身に付けるとともに、集団の中での個の生かしかたについて考える能力を育成する。		【地歴公民】 ・国風文化の学習を通じて、わが国の伝統文化の認識を深め、現代社会について考える能力を育成する。		【商業】 ・全商珠算・電卓実務検定対策のなかでビジネスと諸活動に必要な計算の基礎になる考え方や計算について学び、社会について考える能力を育成する。		【国語】 ・古代中国思想の学習を通じて、人間について思索を深める。
	自己理解・自己管理能力	【体育】 ・体力の向上を図り、それに応じて体育祭において記録に挑戦する。 【家庭】 ・郷土料理について学ぶ事で、郷土理解を深める能力を育成する。		【保健】 ・医薬品についての学習を通じて、薬品に対する自己管理能力を育成する。		【修学旅行】 ・旅行全体を通じて、公共マナーや集団行動を理解する能力を育成する。		【体育】 ・自分の体力に応じて遠行を計画的に踏破する能力を育成する。
	課題対応能力	【文化祭発表をする教科】 ・課題を設定して、発表までの計画を立てることで、自分たちの考えを論理的に伝える能力や企画運営能力・行動力を養う。		【文化祭発表をする教科】 ・文化祭発表を通じて多様な意見に耳を傾け、課題に対する考えを深める。 【数学】 ・数学的帰納法の学習を通じて、事象に対し、数学的に対応できる能力を育成する。		【修学旅行一日研修】 ・自主研修の計画・実践を通じて旅行の目的に対応する能力を育成する。		【音楽】 ・演奏発表を通して多様な意見に耳を傾け、自己表現力を高める。
	キャリアプランニング能力	【古高会講座】 ・OBの話に耳を傾けることで、自信のキャリア形成について考える能力を育成する。		【商業】 ・情報処理検定対策を通じて、情報活用能力を習得し、ビジネス情報の観点におけるキャリアプランニング能力を育成する。		【進路】 ・出前授業を通して、自分の進路や希望する研究分野についての認識を深める。		【家庭】 ・消費者意識の学習を通じて、キャリアについて経済的に考える能力を育成する。
総合的な学習の時間(ストグレ)		・インターンシップの体験発表を通じて、職業観・勤労観を深め、自分の進路を考える。		・文化祭においてテーマ学習の研究成果を発表する。 ・課題研究を進める。		・避難訓練を通じて防災意識を高める。 ・修学旅行の一日研修について発表する。		・課題研究の研究発表を通じて、他者の多様な意見に耳を傾け、課題に対する考えを深める。
特別活動		・体育祭における役割を果たす中で、その重要性を理解し、将来の社会生活に役立てる。		・文化祭発表、クラスマッチ参加を通じて、企画運営能力や行動力を育成する。				・自己の進路目標、身に付けたい能力について考え、次年度への具体的な行動を計画する。

※学習内容については一例を示している。

月		4月	5月	6月	7月	8月
学校行事		古北戦 避難訓練 三者面談	高校総体 期末考査 クラスマッチ	第1回進路ガイダンス 終業式 医療ガイダンス	オープンキャンパス シーカヤックマラソン大会 みなとまつり	
各教科・科目	人間関係形成・社会形成能力の育成	【生物】 ・バイオテクノロジーの技術・応用・課題について考え、意見を述べる能力を育成する。	【地歴公民】 ・環境問題の学習を通じて、郷土の自然環境について考える能力を育成する。	【学校設定教科】 ・手話授業を通じて、共生社会のあり方について深く考える能力を育成する。 【地歴公民】 ・産業革命の学習を通じて、近代産業社会として社会を考える能力を育成する。	【ボランティア活動】 ・地域行事に積極的な参加を通じて、郷土に関する理解を深める能力を育成する。	
	自己理解・自己管理能力の育成	【教育相談】 ・学校生活や家庭生活について積極的に振り返る能力を育成する。 【体育】 ・新体力テストを通じて自らの体力について理解を深める能力を育成する。	【地歴公民】 ・青年期の学習を通じて、発達課題について理解する能力を育成する。	【就職希望者】 ・エントリーシートや志望理由書の作成を通じて、自らの進路先と適性について深く理解し、表現する能力を育成する。	【保健】 ・運動と健康について学び、熱中症等に対応できる健康作りへ向けて自己管理能力を育成する。	
	課題対応能力の育成	【数学】 ・事象の考察において微分の考えを活用できる能力を育成する。 【商業】 ・それぞれの検定対策を通じて、課題を設定し、対応する能力を育成する。	【部活動】 ・最後の大会へ向けての準備を通じて、最終課題を設定し、解決へ向かって行く能力を育成する。	【大学受験者】 ・模擬試験を通じて、入試対策における重点課題を設定し、対応力を育成する。 【物理基礎】 ・物体の運動を摩擦力・圧力・抵抗力・浮力等を用いて分析する能力を育成する。	【大学受験者】 ・夏季課外や個別指導を通して、入試対策における重点課題を設定し、対応する能力を育成する。	
	キャリアプランニング能力	【三者面談】 ・志望校、業種への受験に向け、具体的な流れを設定することを通じて、キャリア形成能力を育成する。	【企業見学】 ・企業見学に関する一連の指導を通じて、就職に対するキャリア形成についてより具体的に考える能力を育成する。	【就職希望者】 ・求人票に目を通し、受験企業を決定することを通じて、より深くキャリア形成について考える能力を育成する。	【就職希望者】 ・推薦選考会へ向け、受験先企業の研究、面接対策、志望理由書の作成を通じて、キャリア形成についての意識を高める。	
総合的な学習の時間 (ストグレ)		・避難訓練事前指導を通じて、防災意識を高め、郷土の地形等への認識を深める。	・志望先や将来に関する資料を読み、担当教員と話をするなどして、志望理由書の作成に取り組む		・志望理由書、自己PRの作成、複数の職員を回っての面接対策を行う。	
特別活動		・大島北高との対抗戦に伴うごみ拾い等を通じて、地域貢献の精神を養う。	・各学級において、進路シラバス等を利用した進路学習を展開する。		地域行事へのボランティア参加を通じて、地域貢献の精神を養う。	

※学習内容については一例を示している。

月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		体育祭 就職試験 大学推薦入試		文化祭		出前授業 大学入試センター試験		大学入試 消費者教室 赤ちゃん先生 卒業式
各教科・科目	人間関係形成・社会形成能力	【体育】 ・体育祭へ向け、集団行動の基礎を身に付けるとともに、集団の中での個の生かしかたについて考える。		【国語】 ・評論読解を通して、筆者の考えている内容をよく理解し、そこから自分の考えを発展させていく力を育成する。		【生物】 ・生物多様性の学習を通じて、郷土の世界自然遺産の意義を説明できる力を育成する。 【地学基礎】 ・気象災害の学習を通じて、防災意識を		【地歴公民】 ・消費者主権の学習を通じて、消費者中心の社会を形成する力を育成する。 【音楽】 ・三味線演奏を通じて、島唄等の郷土音楽への理解を高める力を育成する。
	自己理解・自己管理能力	【大学等推薦入試】 ・入試対策を通じて、自らについて深く理解し、上級学校での学業に必要な適性を身に付けるための自己管理能力を育成する。		【各種検定対策】 ・検定取得を機会に、ビジネスの社会で求められる知識やスキルを身に付け、自己を深く理解し、管理できる力を育成する。		【大学入試センター試験】 ・センター試験対策の最終調整を通じて自己理解を深め、今後の人生の一助となる自己管理能力の育成へとつなげてゆく。		【新生活の準備】 ・入学、入社手続きや運転免許の取得に関する指導を通じて、社会を目前とした段階での自己理解を深める能力を育成する。
	課題対応能力	【大学等推薦入試】 ・入試対策を通じて、自らに必要な重点課題を設定し、計画的な取り組みによって解決する能力を育成する。		【文化祭発表をする教科】 ・文化祭発表を通じて、他者の多様な意見に耳を傾け、課題に対する考えを深める。		【大学入試センター試験】 ・センター試験へ向けての最終調整を通じて、自らに必要な重点課題を設定し、計画的な取組によって解決してゆく能力を育成する。		【大学入試】 ・志望大学の合格へ向けての出願、課題設定を行い、計画的な取組によって進路実現へ向かうことのできる課題対応能力を育成する。
	キャリアプランニング能力	【就職試験】 ・一社目で内定を得るため、自らに課題を設定すること、解決する能力を育成する。		【就職】 ・就職希望者で内定通知が届いた者は、お礼状等の連絡を取り、今後やるべきことについて具体的に考え、キャリア意識を高める。		【商業】 ・簿記検定や各種1級検定対策を通じて、ビジネスの社会で求められる知識やスキルを身に付け、キャリア形成に役立てる能力を育成する。		【次年度へ向けて】 ・進学先、就職先、ひいては社会全体に関する学習を通じて、自らのキャリア形成について、意識を高めていく能力を育成する。
総合的な学習の時間(ストグレ)		・課題研究(進路先に関するもの)を進めていく。						
特別活動		・体育祭における役割を果たす中で、その重要性を理解し、将来の社会生活に役立てる。		・文化祭発表、クラスマッチ参加を通じて、企画運営能力や行動力を育成する。				・高校生活の節目である卒業式の準備を通じて、郷土や恩師へ気持ちを伝えられるようにする。

※学習内容については一例を示している。

1 進路目標

- (1) 古高生としての自覚を持ち、服装容儀・欠席遅刻・あいさつといった生活面をしっかりと、「自律心」を身に付ける。
- (2) 部活動へ積極的に参加し、文武両道を目指す。
- (3) 基礎学力の徹底を図り、自ら学びに向かう習慣を確立する。（環境づくり、課題の提出など）
- (4) 二者面談や三者面談を活用して、自分の進路についても先生方に相談し、進路目標やコース選択について具体的に考える。

2 進路プロセス

月	主な学校行事	試験・模試等	検定試験	進路目標	進路実践	ストグレ(総合学習)
4	入学式 家庭訪問 古北戦	課題考査		[適応・生活指導] 高校生活に適応し、中学校から高校へ学習スタイルを転換、習慣化する。また、高校生として、生活面(服装、授業態度等)をしっかりとする。	○中学生から高校生への転換 服装容儀・欠席遅刻・あいさつといった生活面をしっかりと。また、各教科の課題をしっかりと提出する。 学習オリエンテーション : 高校生としての授業の受け方、予習→授業→復習のサイクルが確立できるように、高校の学習の仕方を学習する。 ○模擬試験を通して目標と現状の差を認識し、弱点克服に努める。 朝課外開始 : 高校生活のリズムを作り、欠席・遅刻がないようにする。	オリエンテーション
5	P T A総会 古高会講座 生徒総会 第1回教育相談	中間考査			第1回進路希望調査 : 現段階での進路希望を記入する。進路指導室やインターネット等を活用し、将来の進路を調べる。 ○教育相談では、学校生活についてなど、家庭訪問では相談できなかった様々なことを相談する。 ○高校生活初めての定期考査(中間考査) 今後の学習がスムーズに進むよう、しっかりと学習に取り組む。進路実現に関わる評定平均につながる。	自己理解 (生徒理解調査等の実施)
6			第1回英語検定	[自己理解] 将来の夢や希望を持つとともに、自分の興味・関心がどこにあり、どのような適性があるのか、またどのような人生を送りたいのかを考える。	○6月より英語、ワープロ、漢字等の検定が続く。授業や課外にしっかりと取り組み、進路につながるよう合格を目指す。 生徒理解検査 : 自己の特徴を捉え、進路研究に役立てる。	テーマ学習1 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
7	クラスマッチ 終業式 夏休み	期末考査	全商ワープロ検定		第1回進路ガイダンス : 進学希望者は、上級学校の説明を直接聞き、進路意識の高揚を図る。就職希望者は、就職についての基本的な心構えと身に付けておくべき事項を学ぶ。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 ○夏季課外を通して生活のリズムを保つようにする。夏季課題は早めに終わらせ、9月にある課題考査に備える。 夏季課外前期 : 基礎学力の定着が目標 欠席・遅刻がないように注意する。	テーマ学習2 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
8	夏休み		漢字能力検定	課外授業や課題を通して、基礎学力を充実させる。	○夏季課外のない時期に、オープンキャンパスに参加する。 ○夏季課外、夏休みの課題を通して、基礎学力を充実させる。また、コース選択に向けて進路研究を行う。 夏季課外後期 : 基礎学力の定着が目標 欠席・遅刻がないように注意する。	
9	始業式 体育祭	課題考査		[職業研究] さまざまな進路があることを知り、理解を深める。自己の適正についても考え、進路選択の参考にする。	○2学期の始まりに際し、生活リズムを整える。また、夏休みの提出物を、しっかりと期限内に出す。 ○1学年P T Sは主にコース選択について 生徒、保護者でよく話し合って自分の進路を考え、コースを決めるようにする。 (進路講演会 : 外部講師の講演を聴くことで、自分の進路について考える。)	テーマ学習3 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
10	文化祭	中間考査	第2回英語検定		第2回進路希望調査 : 進路研究のきっかけとし、進路指導室やインターネット等を活用して調べる。その際、コース選択についてもよく考える。 ○中間考査に向けて、しっかりと学習する。評定平均につながる。	テーマ学習4 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
11	集団読書 第2回教育相談	期末考査	全商ワープロ検定	[コース選択] コースについての理解を深め、就きたい職業	大学等出前講座 : 興味・関心のある系統の講座を受講し、進路について考える。 ○第2回教育相談では、コース選択についてのことも担当の先生に相談する。 ○期末考査に向けて、しっかりと学習する。評定平均につながる。 ○模擬試験を通して目標と現状の差を認識し、弱点克服に努める。	職業観の育成(企業訪問の準備と実施)

12	クラスマッチ 1 学年PTS 終業式 冬休み			と高校卒業後の進路希望から、コース選択を考える。	○一年間を反省し、来年の進路目標を設定する。 ○生活のリズムを崩さない。生活のリズムを保ち、冬季課題は早めに終わらせて、1月にある課題考査に備える。また、進路についても調べ、コース選択を決定する。	課題研究1（グループごとに課題を決め、調べ、発表する。）
1	始業式	課題考査 進研模試	第3回英語検定	[目標設定] 進路目標の方向を定め、大まかに進路計画を設定する。	<u>大学入試センター試験</u> ：大学・短大進学希望者は、大学の入試制度について調べ、センター試験について知る。 ○模擬試験を通して目標と現状の差を認識し、弱点克服に努める。	課題研究2（グループごとに課題を決め、調べ、発表する。）
2	加計呂麻遠行	学年末考査	漢字能力検定	[情報活用] 情報を活用する姿勢を身に付ける。	○学年末考査に向けて、しっかり学習に取り組む。評定平均につながる。 <u>第2回進路ガイダンス</u> ：進学希望者は、各学校の説明を直接聞き、希望分野や学費等について具体的に知る。就職希望の生徒は、就職についての基本的な心構えと、身に付けておくべき具体的事項を確認する。 <u>進路体験発表</u> ：3年生の大学、専門学校、就職に合格した先輩の体験談を聞き、進路実現に向けての参考として、意識を高める。	課題研究3（グループごとに課題を決め、調べ、発表する。）
3	卒業式 高校入試 終業式 春休み				○2年次のコース選択に応じた準備をする。規則正しい生活を心掛け、学習時間をしっかり確保する。 苦手科目・分野の克服に努める。	人生設計を描く。

平成30年度 古仁屋高等学校 3年間の指導ストーリー（2学年）

1 進路目標

- (1) 中堅学年としての自覚を持ち、文武両道で学校をリードできる集団を目指す。
- (2) 一人一人が自己の能力・適性を自覚するとともに、職場体験学習を通して、働くことについて学ぶ。
- (3) 現実的な選択に向けて具体的に進学・就職先を研究し、希望進路実現のために、積極的に学習できる集団を目指す。
- (4) 様々な資格・検定試験に挑戦し、主体的に学ぶ力を身に付ける。

2 進路プロセス

月	主な学校行事	試験・模試等	検定試験	進路目標	進路実践	ストグレ(総合学習)
4	始業式 家庭訪問 古北戦	課題考査		[自己理解] 自己の適性・関心 を考え、自己理解 を深める。	○1年次より学習内容が難しくなる。宅習時間を増やし、予習→授業→復習のサイクルを確立する。 ○コース制での授業が始まる。自分の進路目標に向けて、授業や課題等にしっかり取り組む。 朝課外開始 :基礎学力の定着や、進路実現に向けての学力補充が目的 欠席・遅刻がないように、生活のリズムを整える。	オリエンテーション
5	P T A総会 生徒総会 第1回教育相談	中間考査		[進路先の研究] 就職、専門学校、 短大、大学のいず れを選択するかを 絞り込み、希望分 野について研究す る。	進路適性検査 :自己の適性・関心を知り、進路研究に役立てる。 第1回進路希望調査 :進路研究を深めるために、進路指導室やインターネット等を活用して、学校・事業所について具体的に調べる。 ○教育相談を活用して、学校生活(学習・進路・部活動等)や家庭生活についてのこと等を積極的に相談する。 ○中間考査に向けて、しっかりと学習する。評定平均につながる。 ○6月～7月は、資格・検定試験が集中する。合格を目指し、意欲的に学習に取り組む。	職業観の育成 (就職の心構え・履歴書の記入)
6			第1回英語検定 全商珠算・電卓検定		○6月～7月は、資格・検定試験が集中する。合格を目指し、意欲的に学習に取り組む。	職業観の育成 (実習先開拓・インターンシップの準備)
7	クラスマッチ 終業式 夏休み	期末考査 進研模試 (進路マップ)	全商ワープロ検定	職場体験を通し て、自己の能力・ 適性を自覚し、職 業観を養う。	○期末考査に向けて、しっかりと学習する。評定平均につながる。 第1回進路ガイダンス :進学希望者は、各学校の説明を直接聞き、希望分野や学費等について具体的に知る。就職希望の生徒は、就職についての基本的な心構えと、身に付けておくべき具体的事項を確認する。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○夏季課外を通して生活のリズムを保つようにする。夏季課題は早めに終わらせ、9月にある課題考査に備える。 夏季課外前期 :1年と2年1学期の復習に努める。欠席・遅刻がないように注意する。 インターンシップ :職場体験学習を通して、働くことについて学び、自分の進路を考える。	職業観の育成 (インターンシップの準備)
8	夏休み		漢字能力検定		○夏季課外のない時期に、オープンキャンパスに参加する。 夏季課外後期 :前期に引き続き、欠席・遅刻がないように注意する。	
9	始業式 体育祭	課題考査	全商情報処理検定	[希望進路の決定] 就職ならば業種、 進学ならば学部・ 学科を明確に決 め、志望先を絞り 込む。	○9月～11月にかけて、資格・検定試験が集中する。合格を目指し、意欲的に学習に取り組む。 ○就職試験、専門学校推薦入試まであと1年。進路を具体的に考えなければならない。進路学習を深め、準備を始める。3年生の動向にしっかり目を向ける。 第2回教育相談 :担当の先生に進路について相談し、志望先の絞り込みを行う。 (進路講演会 :外部講師の講演を聴き、進路について考える。)	修学旅行の調べ学習
10	古高会講座 文化祭	中間考査	第2回英語検定		○中間考査に向けて、しっかりと学習する。評定平均につながる。 古高会講座 :先輩の話聴き、自分の生き方について考える。 第2回進路希望調査 :進路指導室やインターネット等を活用して、授業料やカリキュラム等、希望する学校、事業所について詳しく調べる。	文化祭準備 修学旅行の調べ学習

11	集団読書 2学年PTS 第2回教育相談	進研模試 期末考査	全商珠算・電卓検定 全商ワープロ検定		<p>大学等出前講座：興味・関心のある系統の講座を受講し，進路について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育相談を活用して，学校生活（学習・進路・部活動等）や家庭生活についてのこと等を積極的に相談する。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り，その克服に努める。 ○期末考査に向けて，しっかりと学習する。評定平均につながる。 	修学旅行の調べ学習
12	クラスマッチ 修学旅行 終業式 冬休み				<ul style="list-style-type: none"> ○一年間を反省し，来年の進路目標を設定する。 ○生活のリズムを崩さない。生活のリズムを保ち，冬季課題は早めに終わらせ，1月にある課題考査に備える。 	修学旅行の調べ学習・事後のまとめ
1	始業式	課題考査	全商簿記検定 全商情報処理検定 第3回英語検定	[進路計画・目標] 進路希望実現のために進路計画を立て，目標を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ○1月は資格・検定試験が集中する。合格を目指し，意欲的に学習に取り組む。 大学入試センター試験：受験予定の生徒は，来年度に向けて，本年度の問題を解き今後の学習に生かす。 ○特に国公立大のAO・推薦入試受験希望者は，3年1学期を目標に，英検・漢検の2級取得を目指す。 	進路の自覚（進路研究）
2	加計呂麻遠行	進研マーク模試 学年末考査			<p>第2回進路ガイダンス：進学希望者は，各学校の説明を直接聞き，希望分野や学費等について具体的に知る。就職希望の生徒は，就職についての基本的な心構えと，身に付けておくべき具体的事項を確認する。</p> <p>進路体験発表：3年生の大学，専門学校，就職に合格した先輩の体験談を聞き，進路実現に向けての参考として，意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○模擬試験を通して自分の弱点を知り，その克服に努める。 ○志望校について受験方法や受験科目等を具体的に調べ，対策を始める。「面接ノート」を作成する。 ○今年度の求人票に目を通し，求人内容の確認や傾向を把握し，就職試験に向けての準備を始める。 ○学年末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 	進路の自覚（進路研究）
3	卒業式 高校入試 終業式 春休み				<p>(就職ガイダンス)：仕事についてのグループ学習や面接練習を通して，就職活動や就労環境に関する知識を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○苦手科目や苦手分野の克服に努める。 ○オープンキャンパスに参加する。（実質的に最後の機会となる。） 	進路の自覚 (進路について考える。)

1 進路目標

- (1) 最高学年としての自覚を持ち、学習面・生活面で下級生の模範となるような集団を目指す。
- (2) 進路実現のため、朝課外・夏季課外などの課外授業や小論文・面接指導などを効果的に利用する。
- (3) 自分の能力や適正を的確に把握し、主体的に進路決定ができるように、進路に関する準備を早期に行う。
- (4) 二者面談・三者面談を効果的に活用して進路を決定し、十分な宅習時間を確保する。

2 進路プロセス

月	主な学校行事	試験・模試等	検定試験	進路目標	進路実践	スットグレ(総合学習)
4	始業式 三者面談 古北戦	課題考査		[目標設定] 進路目標を設定し、目標達成のために志望校・就職先のことについての研究を始める。進路実現のために基礎学力を養成する。	三者面談 ：志望校や志望業種、受験日程や学費、年間の流れなど担任・生徒・保護者で具体的な話をする。 朝課外開始 ：進路実現に向けて、基礎学力の定着が重要である。欠席・遅刻がないよう朝課外に目標を持ってしっかり取り組む。	進路を考える。 (志望校・就職先についての研究)
5	P T A総会 生徒総会 第1回教育相談	中間考査			○部活動生は、高校総体に向けて完全燃焼する。また、これまでの進路研究の結果や、自分の学力、適性等を踏まえて、志望校や志望業種を絞る。 第1回進路希望調査 ：志望校・志望業種について具体的に研究する。 第1回教育相談 ：志望校・志望業種について担任に相談する。進路実現に向けて努力目標を設定し、年間の流れや必要事項の確認をする。	進路を考える。 (願書・履歴書の作成方法)
6	放課後学習開始	進研マーク模試 (進路マップ)	第1回英語検定 全商珠算・電卓検定 全商簿記実務検定	[志望校・受験校・受験企業の決定] これまでの進路研究の結果と自分の学力を踏まえて、受験校・受験企業を決定する。	○部活動を引退する生徒が増える時期であり、本格的に進路実現に向けて気持ちを切り替える。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 第1回進路ガイダンス ：就職希望者は、進路ガイダンスを通して就職試験に向けた実践的な練習を行う。また、進学希望の生徒は、進路希望に近い学校・学部等の説明を聞き、学習へのモチベーションを高める。 放課後(個別)学習の開始 ：大学短大志願者を中心とした生徒が参加し、進路実現に向けて放課後に自学自習を行なう。	進路を考える。 (志望理由書の作成)
7	クラスマッチ 終業式 夏休み	期末考査 進研記述模試 (小論文模試)	全商ワープロ実務検定 漢字能力検定		求人受付開始 ：就職希望者は出来るだけ多くの求人票に目を通し、担任・保護者と話し合いを重ねて、受験する企業を決定する。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 夏季課外前期 ：教科の授業の他に、進路実現のための進路学習（面接練習、一般常識問題演習、履歴書・志望理由書の準備等）もある。欠席・遅刻がないように注意する。 三者面談 ：進学・就職希望先の最終決定を行う。また、受験科目・日程、今後の課題等の確認を行う。	進路を考える。 (志望理由書の作成・面接の練習)
8	夏休み			生活リズムを乱しやすい時期であるので、規則正しい生活を心掛ける。推薦入試志望者は、面接・小論文等の練習に力を入れる。	○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○夏季課外を利用し、センター試験に向けた基礎学力の充実をはかる。国公立大学の推薦入試受験予定者は、小論文・面接対策を進める。また、就職、専門学校推薦入試受験予定者は、出願、面接、小論文等の準備を行う。 ○夏季課外がないときに、オープンキャンパスや企業見学に参加する。 面接指導の開始 ：日頃の言葉遣いや挨拶が大切 「面接ノート」をしっかりと記入し、担当の先生と練習する。 推薦面接会の開始 ：第1回は就職希望者中心 第2回は専門学校希望者中心 面接や志望理由書等の提出が必要 学校への提出書類は期限を厳守する。 夏季課外後期 ：教科の授業の他に、進路学習（面接練習、一般常識問題演習、履歴書・志望理由書の作成等）も実施する。欠席・遅刻がないように注意する。	

9	始業式 体育祭	課題考査 進研マーク模試	(全商英語検定) 全商情報処理検定	[就職試験] 一社目で内定を勝ち取る。 [推薦入試] 受験対策に努める。特に面接や小論文等の練習は早期に、継続的に担当の先生と取り組む。	○9月1日、就職関係応募書類発送 9月16日～就職試験開始 面接練習・筆記対策等に全力を注ぐ。 (進路講演会：外部講師の講演を聴き、自分の進路についての意識を高める。) 推薦面接会：大学・短期大学希望者中心 面接や志望理由書等の提出が必要 学校への提出書類は期限を厳守する。 ○就職希望者で内定通知が届いた者は、お礼状を作成・送付する。 1人2社制スタート：10月より1人で複数企業の受験が可能となる。積極的に受験するようにする。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 専門学校推薦入試の出願：出願書類に不備がないか確認する。面接・作文・小論文・学科試験等の対策に全力を注ぐ。 大学入試センター試験出願：出願書類に不備がないか注意する。 専門学校推薦入試の開始	進路を考える。(面接・小論文の練習、就職希望者はお礼状の作成)
10	文化祭	中間考査 進研記述模試	第2回英語検定		○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 専門学校合格発表：提出書類、納入金等を確認し、期限を厳守する。課題等の提出がある場合は、しっかりと取り組む。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○進路内定者は学級やコースの雰囲気作りに気を配る。検定や考査が集中する時期でもあり、目標を切り替えて学習に励む。センター試験受験者は、授業・課外授業等を利用してマークテスト対策を行う。 大学・短大推薦入試の開始	進路を考える。(面接・小論文の練習、就職希望者はお礼状の作成)
11	集団読書 第2回教育相談	進研マーク模試 期末考査	全商珠算・電卓検定 全商ワープロ検定 日商簿記検定 漢字能力検定	[継続] 希望進路実現のために粘り強く取り組み、合格できる学力を身に付ける。	3学年PTS：今後の日程、注意点等について確認する。 ○センター試験に向けての追い込み 過去問等で問題演習を重ねる。また、生活のリズム(寝る時間・起きる時間)を一定にして、体調管理に気を配る。 冬季課外：センター試験パック模試等を活用し、センター試験に向けての最終調整を行う。	進路を考える。(面接・小論文の練習、社会人としての心構えの養成)
12	クラスマッチ 3学年PTS 終業式 冬休みセンター対策		県商簿記検定		○進路未決定者は焦りが出てくる時期だが、あきらめずに最後まで努力する。 冬季課外：センター試験パック模試等を活用し、センター試験に向けての最終調整を行う。 ○センター試験利用私立大学受験者は、センター試験前出願が増えているので注意する。 大学入試センター試験：体調管理をしっかりと、全力を出し切る。 出願決定のための三者面談：センター試験の自己採点を参考に大学について詳細に調べ、担任や保護者と相談した上で、出願校を決定し出願する。 卒業考査：最後の定期考査である。しっかりと復習して試験に臨む。	進路を考える。(面接・小論文の練習、社会人としての心構えの養成)
1	始業式 センター試験	卒業考査	第3回英語検定 全商簿記検定 全商情報処理検定	[進路未決定者] 大学短大進学希望者は、センター試験、2次試験等に向けて全力を尽くす。専門学校進学希望者は、試験日程等を確認し、学習も含めて準備をする。就職希望者は、積極的に受験機会を生かす。	○自宅学習期間を有意義なものにする。進学先での学習に向けて学習習慣を身に付ける。入学手続き等も確実に。就職内定者は、企業からの赴任通知を確認する。 ○進路未決定者は、個別指導を受ける。最後まで粘り強く努力する。 ○新生活に向けての準備を怠らない。就職内定者で運転免許の取得が義務付けられている生徒は、赴任日までに確実に取得する。 進路体験発表(3年合格者体験談)：1・2年生に向けて合格体験談を話す。 国公立大学前期試験 私立大学一般入試 私立大学一般入試合格発表	高校生活のまとめ(上級学校や職場への適応を高める。)
2	自宅学習 古高会講座				○進路未決定者は、個別指導を受ける。最後まで粘り強く努力する。 ○新生活に向けての準備を怠らない。就職内定者で運転免許の取得が義務付けられている生徒は、赴任日までに確実に取得する。 国公立大学前期試験合格発表 国公立大学後期試験 国公立大学後期試験合格発表	
3	卒業式			[新生活へ向けて] 進路を決定し、上級学校や職場への適応を高める。専門分野の学力や社会人としての心構えを養成する。		